

大阪府教育センター 支援教育推進室の取組み

～ともに学び ともに育つ～
支援教育の推進に向けて

- 1 大阪府教育センターの概要
- 2 支援教育推進室 実施研修について
- 3 市町村研修支援メニューについて
- 4 パッケージ研修支援について
- 5 カリナビ要請支援について
- 6 支援教育地域支援整備事業について
- 7 教育庁ハートフルオフィスについて

1 大阪府教育センターの概要

1 大阪府教育センターの概要

大阪府教育センター 事業

事業

大阪府教育センターは、教育の振興を図るため、次の事業を行う。

- 1 教育関係職員の研修に関すること。
- 2 教育に関する専門的又は技術的事項の調査及び研究に関すること。
- 3 教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
- 4 教育相談に関すること。
- 5 大阪府教育センター附属高等学校との連携及び協力に関すること。
- 6 これらのほか、教育の振興を図るために必要なこと。




沿革

大阪府立科学教育研究所	昭和21年4月	大阪府立科学教育研究所の設置
大阪府教育研究所	昭和25年4月	大阪府教育研究所を設置
大阪府科学教育センター	昭和37年4月	大阪府科学教育センター条例の施行
大阪府教育センター	平成5年4月	大阪府教育センター条例の施行。「すこやか教育相談」開設
	平成19年4月	カリキュラムNAViプラザを設置
	平成22年4月	教科教育部を教育課程開発部に変更
	平成27年4月	教育課程開発部をカリキュラム開発部に改編

1 大阪府教育センターの概要

令和5年度 大阪府教育センター 組織



総務課	大阪府教育センターの運営・事務全般 ・総務・経理・庶務・施設管理 ・情報システム管理・購買 ・広報・渉外・関係機関との連携
支援教育推進室	支援教育推進の企画・実施 ・教育課程に係る調査・研究及び研修 ・支援教育に係る相談の実施 ・支援教育の推進に向けた研修の実施 ・教育庁ハートフルオフィスの運営に関すること
キャリア・学習支援課	キャリア・学習支援の企画・実施 ・キャリア教育の推進 ・学習指導要領の策定・改訂 ・学習指導要領の解説・研修 ・学習指導要領の活用に関する調査・研究
調査・研究開発課	調査・研究開発の企画・実施 ・調査・研究開発の推進 ・調査・研究開発の成果の発信 ・調査・研究開発の成果の活用
人材育成支援課	人材育成支援の企画・実施 ・人材育成支援の推進 ・人材育成支援の成果の発信 ・人材育成支援の成果の活用

5

1 大阪府教育センターの概要

令和5年度 大阪府教育センター基本方針

基本方針

将来の予測が困難な社会の中で、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、生き抜くための力を育む教育の創造に向けて、教職員一人ひとりの資質・能力の向上と「学校力」の向上をめざす。

重点方策

大阪府教育センターの3つの役割と特色ある取組みの発展・充実を図る


◎大阪府教育センターの3つの役割

- ◆カリキュラムマネジメント支援
教育目標の実現をめざし、教育活動の質の向上を図ることができるよう、学習指導要領を踏まえた教材・教育方法の提供及びカリキュラムマネジメントの支援を行い、教職員のカリキュラムマネジメントに対する認識を高め、その能力を向上させる。
- ◆調査・研究開発
SDGs（持続可能な開発や社会的包摂）を実現する質の高い教育の創造のために、最新の教育情報（国・府の動向、教育理論、教育実践等）を府内に広く発信するとともに、「新たな教師の学び」の実現のために、より効果的で高度な研修コンテンツの開発・充実、教育振興施策の推進に寄与する。調査・研究開発を独自に実施することにより、学校の教育力向上を図る。
- ◆人材育成支援
すべての子どもたちの学びや育ちを支援するため、大阪府教員等育成指標に基づく体系的な研修の実施及び支援により、教職員一人ひとりの資質・能力を向上させるとともに、次世代を担う、リーダー層、ミドルリーダー層の教職員の育成を行う。

6

1 大阪府教育センターの概要

令和5年度 大阪府教育センター基本方針



支援教育課と連携

◇府立支援学校の教育課程ヒアリング

◇府立支援学校の教育課程表「シラバス」の点検作業 → 指導・改善

◎大阪府教育センターの3つの役割

◆カリキュラムマネジメント支援
教育目標の実現をめざし、教育活動の質の向上を図ることができるよう、学習指導要領を踏まえた教材・教育方法の提供及びカリキュラムマネジメントの支援を行い、教職員のカリキュラムマネジメントに対する認識を高め、その能力を向上させる。

◆調査・研究開発
SDGs（持続可能な開発や社会的包摂）を実現する質の高い教育の創造のために、最新の教育情報（国・府の動向、教育理論、教育実践等）を府内に広く発信するとともに、「新たな教師の学び」の実現のために、より効果的で高度な研修コンテンツの開発・充実、教育振興施策の推進に寄与する。調査・研究開発を独自に実施することにより、学校の教育力向上を図る。

◆人材育成支援
すべての子どもたちの学びや育ちを支援するため、大阪府教員等育成指標に基づく体系的な研修の実施及び支援により、教職員一人ひとりの資質・能力を向上させるとともに、次世代を担う、リーダー層、ミドルリーダー層の教職員の育成を行う。

調査・研究
調査・研究の主題：
「ともに学び、ともに育つ」教育の推進に向けた情報発信の在り方に関する調査・研究

大阪府教員等育成指標に基づく体系的な研修の実施及び支援
「2 支援教育推進室 実施研修」で…

7

1 大阪府教育センターの概要

令和5年度 大阪府教育センター基本方針

基本方針

将来の予測が困難な社会の中で、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、生き抜くための力を育む教育の創造に向けて、教職員一人ひとりの資質・能力の向上と「学校力」の向上をめざす。

重点方策

大阪府教育センターの3つの役割と特色ある取組みの発展・充実を図る

◎特色ある取組み

- ◆大阪府教育センター附属高等学校
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善、ICTを活用した授業づくり、探究的な学びの充実などの実践・研究を重ね、その成果を府内に発信するなど、先進的・先導的なナビゲーションスクールとしての役割を果たす。
- ◆大阪府幼児教育センター
大阪府内の幼児教育の質の向上を担う拠点として、小中学校課・私学課・子育て支援課との連携により、幼児教育関連の研修・調査研究・情報発信を推進する。
- ◆大阪府高等学校教育支援センター（ルボン）
不登校生徒に対して、支援プログラムによる対応実践を積み重ね、その成果を発信するとともに、学校へのコンサルテーションを行いながら、ICTも効果的に活用し、府立高校の不登校生徒への対応を充実させる。
- ◆教育庁ハートフルオフィス
知的障がいのある府立学校の卒業生を非常勤作業員として任用し、日々の実務経験を通じて就労をめざし自立を支援する。
- ◆教育相談
電話・メール・SNS・面談等、多様な教育相談機能を充実し、様々な相談に対応する。府立学校に対しては精神科医による緊急対応も行う。

8

2 支援教育推進室 実施研修について



2 支援教育推進室 実施研修について

令和5年度 大阪府教育センター基本方針

支援教育課と連携

- ◇府立支援学校の教育課程ヒアリング
- ◇府立支援学校の教育課程表「シラバス」の点検作業 → 指導・改善

調査・研究

調査・研究の主題：
「ともに学び、ともに育つ」教育の推進に向けた情報発信の在り方に関する調査・研究

大阪府教育センターの3つの役割

- ◆カリキュラムマネジメント支援
教育目標の実現をめざし、教育活動の質の向上を図ることから、授業づくり、学習指導、カリキュラムマネジメントの支援を行い、教職員のカリキュラムマネジメントに効果的に取り組む。
- ◆調査・研究開発
SDGs（持続可能な開発や社会的包摂）を実現する、高い教育の創造のために、理論、教育実践（等）を府内に広く発信するとともに、「新たな教師の学び」の実現、教育振興施策の推進に寄与する。調査・研究開発を独自に実施することにより、教育力向上を図る。
- ◆人材育成支援
すべての子どもたちの学びや育ちを支援するため、大阪府教員等育成指標に基づく体系的な研修の実施及び支援により、教職員一人ひとりの資質・能力を向上させるとともに、次世代を担う、リーダー層、ミドル層の教職員の育成を行う。

大阪府教員等育成指標に基づく体系的な研修の実施及び支援
↓
「2 支援教育推進室 実施研修」で…

大阪府教育センターの3つの役割

2 支援教育推進室 実施研修について

大阪府教員等研修計画

- OSAKA教職スタンダード（共通の指標）
- OSAKA教職スタンダード（職に応じた指標）
- スクールリーダースタンダード

一人ひとりの教員がそれぞれのキャリア（経験や職責）に応じて計画的に研修等に取り組み、自らの資質・能力の向上を図ることや子どもを取り巻く今日的な課題に自信を持って取り組む

3つの専門領域

- 「支援学校（学級）の教諭
- 養護教諭
- 栄養教諭

大阪府教員等研修計画のページ

2 支援教育推進室 実施研修について

OSAKA教職スタンダード

	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期															
第1期															
第0期															

大阪府教員等研修計画のページ

2 支援教育推進室 実施研修について

OSAKA教職スタンダード

Ⅲ 職業人としての専門性発揮			Ⅳ 学校組織の一員としての行動力や応用力、貢献力		
1 基礎的知識力	2 専門的知識力	3 実践力	1 児童を支援することによる力	2 ネットワークを構築する力	3 デジタルリテラシー
基礎的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	専門的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	実践力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援することによる力を身に付け、その活用を図ることができる。	ネットワークを構築する力を身に付け、その活用を図ることができる。	デジタルリテラシーを身に付け、その活用を図ることができる。
基礎的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	専門的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	実践力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援することによる力を身に付け、その活用を図ることができる。	ネットワークを構築する力を身に付け、その活用を図ることができる。	デジタルリテラシーを身に付け、その活用を図ることができる。
基礎的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	専門的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	実践力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援することによる力を身に付け、その活用を図ることができる。	ネットワークを構築する力を身に付け、その活用を図ることができる。	デジタルリテラシーを身に付け、その活用を図ることができる。
基礎的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	専門的知識を身に付け、その活用を図ることができる。	実践力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援することによる力を身に付け、その活用を図ることができる。	ネットワークを構築する力を身に付け、その活用を図ることができる。	デジタルリテラシーを身に付け、その活用を図ることができる。



大阪府教員等研修計画のページ

2 支援教育推進室 実施研修について

OSAKA教職スタンダード

Ⅲ 子どもの力を伸ばすことができる実践力、貢献力の発揮			Ⅳ 子どもを支援する力の発揮、実践力、貢献力の発揮		
1.1 児童を支援する力	1.2 児童を支援する力	1.3 児童を支援する力	1.4 子どもを支援する力	1.5 子どもを支援する力	1.6 子どもを支援する力
児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。
児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。
児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。
児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	児童を支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。	子どもを支援する力を身に付け、その活用を図ることができる。



大阪府教員等研修計画のページ

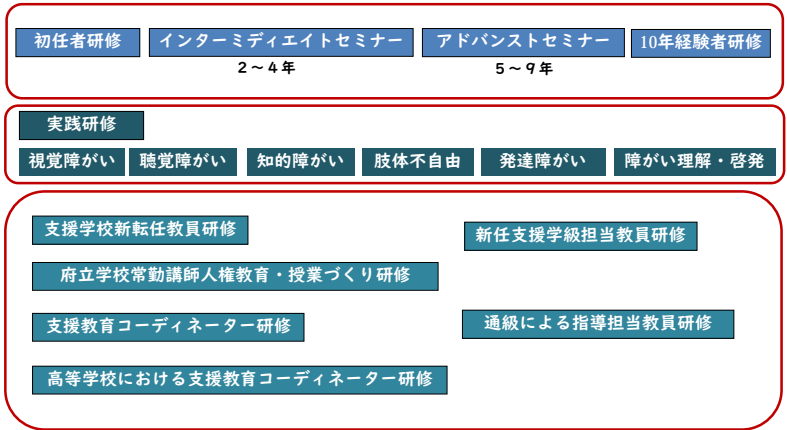
2 支援教育推進室 実施研修について

OSAKA教職スタンダード（職に応じた指標）

	専門領域【支援学校（学級）の教諭】		
	1 ネットワークの構築	2 子ども理解 個の教育的ニーズに応じた指導・支援	3 交流及び共同学習等
第4期	地域の支援教育力向上のための連携体制を構築することができる	府の支援教育推進のための中心的な役割を果たすことができる	支援教育推進における組織的な対応の中心となることができる
第3期	組織力を高めるためのネットワークを構築することができる	支援教育に関して広く知識を持ち、地域への発信、教員への指導・助言ができる	交流及び共同学習を推進するための組織的対応の中心となることができる
第2期	子ども一人ひとりの課題を解決するためのネットワークを活用することができる	校内の支援教育を積極的に進めることができる	交流及び共同学習を積極的に進めることができる
第1期	子ども一人ひとりの課題を解決するため相談することができる	個に応じた指導・支援ができる	学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる
第0期	様々な人と関わりを持つことができる	支援教育に関する基礎的な知識を身に付けている	他の人の個性や人格を尊重できる

2 支援教育推進室 実施研修について

支援教育推進室 実施研修



2 支援教育推進室 実施研修について

支援教育推進室 実施研修

通級による指導担当教員研修

募集人数160名に対して318名の応募者

回	開催方法	主題等	講師等
1	集合開催	大阪府における支援教育の現状と課題 障がいについての理解と特性に応じた指導・支援	大阪府教育庁指導主事 学識経験者
2	オンデマンド 集合開催	指導事例に基づく実践交流	公立学校教員 大阪府教育センター指導主事
3	オンデマンド開催	発達障がいのある子どもの理解と支援の在り方	学識経験者

法定研修におけるユニット型研修

10年経験者研修の例：
実践レポートの提出により実践回を1回分としてカウント

回	開催方法	主題等	講師等
2	オンデマンド	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現 理論	大阪府教育センター指導主事
3	実践	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現 実践	所属校等
12	集合開催（班別協議）	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現 検証	大阪府教育センター指導主事

17

3 市町村研修支援メニューについて

3 市町村研修支援メニューについて

研修支援メニューは、市町村教育委員会から依頼を受けて、支援教育推進室の指導主事が講師として市町村立小・中学校の教員等に対して研修を実施する取組み

メニューは、4つのテーマを提示

「合理的配慮」と「基礎的環境整備」

- 学校における「合理的配慮」と「基礎的環境整備」について理解を深め、指導・支援に生かす方法について

「個別的教育支援計画」と個別の指導計画」

- 「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」の意義や位置付け及び作成や活用上の留意点について

「特別的教育課程」の編成と「自立活動」

- 児童生徒の実態に応じた教育課程の編成及び「自立活動」の意義と指導の基本について

障がいの状態等に応じた指導・支援の在り方

- 通常の学級や支援学級、通級による指導等、それぞれの学びの場における一人ひとりの障がいの状態等に応じた指導・支援の内容や方法の工夫について

19

4 パッケージ研修支援について

18

20

4 パッケージ研修支援について

府立支援学校における組織的な授業改善

- 目的**
- これからの社会を生き抜く児童生徒に求められる資質・能力の育成をめざし、各府立支援学校が掲げる「めざすべき授業」に向けた組織的な授業改善の取組を継続的に支援する。
 - 具体的には、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざしたICTを活用した取組と、その学びにより身に付いた資質・能力を評価する取組を両面から支援する。
- 経緯**
- 大阪府教育センターでは、平成24年度から校長のリーダーシップのもと、教職員全体の授業力を向上させるための学校の組織的取組への支援として、支援学校に対して「パッケージ研修支援」を行ってきた。
 - 特別支援学校学習指導要領等の改訂にあたり、授業改善の推進がさらに求められることから、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」と「学習評価の充実」に焦点を当てた、授業改善の取組の普及をより促進する支援学校「パッケージ研修支援」を実施する。
- 支援の内容**
- 授業アンケートの結果等に基づく学校の課題把握から始まり、めざす授業像に向けた指導の在り方について全教職員で共通理解を回すための校内全体研修、学びを深める授業の指導案の共同作成、事前授業、研究授業及び研究協議会を経て、日々の授業の工夫・改善の活性化につながる研修を実施する。これらを一つのパッケージとして取り組むことにより、学校全体で行う授業改善に向けたR-PDCAサイクルの確立を図る。

令和5年度 各学校のテーマ

- 『わくわくできるような授業づくり(友だちとかかわりながら)』～ICTを活用して～
- 「主体的・対話的で、深い学び」の観点から「校内研究授業」を実施し、授業改善
- 自立活動の時間の指導と各教科の指導との有機的な運動の推進
- 学ぶって楽しい!～主体的・対話的で深い学び～

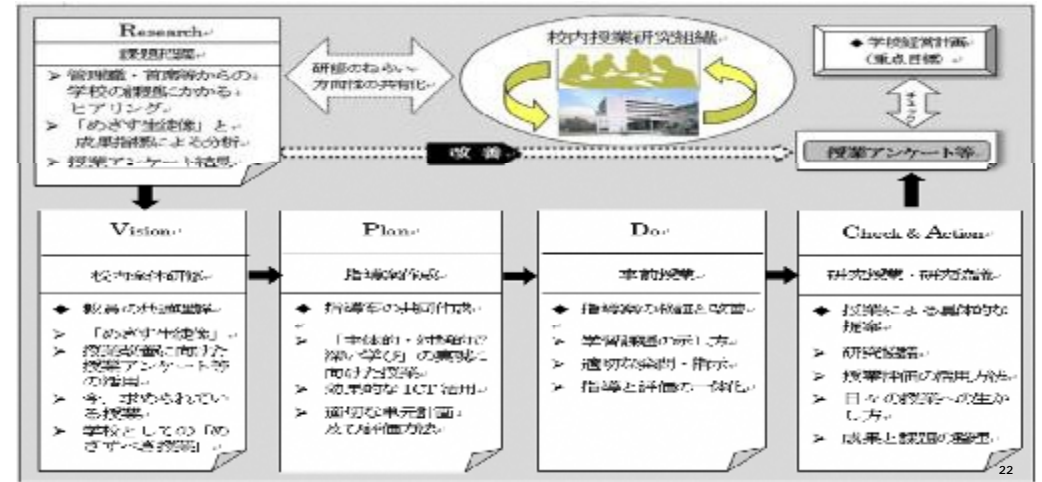
21

5 カリナビ要請支援について

23

4 パッケージ研修支援について

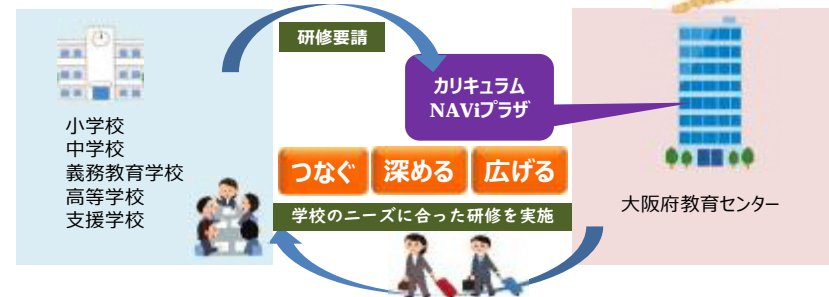
府立支援学校における組織的な授業改善



22

5 カリナビ要請支援について

教職員の学びを深めるための研究・研修を支援



学校のニーズの例

子どもたちへの言葉かけや指導・支援の在り方に課題を感じる。特に、子どもの人権に配慮した指導・支援ができていないのか、研修を通してもう一度考えさせたい。

障がいの程度が重く、反応が微かな子どもたちへの算数の指導について教えてもらいたい。特に、「数を教える」ということはどういうことなのか、基本的なことを教職員全体で考える機会がほしい。

中学部の子どものキャリア教育について、今後どのように進めていってほしいのかを教えてもらいたい。

24

目的

- 〇 教育総務企画課の事業で、令和2年度に開所した。
- 〇 療育手帳を持っている府立学校の新卒等を対象に、非常勤作業員として、最長2年間雇用し、就職に向けた支援を行っている。
大阪府教育センター内で事務補助などの業務を行いながら、就労に必要な心構えやスキルを身に付け、企業等への就労をめざす。

スキーム



年間 主な業務内容

執務室での作業	出張業務	運送集配業務・その他
封筒（折り・補修）作業	府立学校（高等学校・支援学校）へ出張	【 運送集配業務 】 教育センター内の各室に届いた運送便の配達及び回収
封入作業（チラシ・ポスター等）		
封筒宛名はり	冊子袋詰め	資料の配架
データ入力（Word・Excel）	研修資料作成	物品搬出作業
印刷作業（研修資料・シラバス等）	給食だよりの印刷	文書の運搬作業
丁合作業	アンケート（整理・集計・仕分け・入力）	【 その他 】
シュレッダー作業	シュレッダー作業	植栽などの環境整備
裏紙作成作業	教育庁等 （高校教育改革課、文化財保護課など各課へ）出張	教科書見本など図書の運搬と整理
袋詰め作業		
ブックカバー貼り	リーフレット関係 （折り・小分け・シール貼り・封入等）	研修室の机と座席のレイアウト変更
インデックス作成	廃棄文書の搬入	朝礼や終礼での司会
カード梱包作業	ラミネート、穴あけ、紐通し（内線番号等）	電話対応など

研修プログラム

- 〇 ストレスマネジメント研修
仕事を続けていくために、ストレスとの向き合い方を学ぶ。ストレスとは何なのか、ストレスの原因、ストレスをためやすい人の特徴などを知ったうえで、チェックシートを用いて自身のストレスの状態を確認。
- 〇 アンガーマネジメント研修
ゲームを用いて、自分の怒りのレベルについて知る。人それぞれ怒りのレベルが違うこと、怒りのコントロールの仕方について学ぶ。

研修プログラム

○ 就労セミナー

求人票の見方、履歴書の書き方、自分の長所、短所についてまとめる、面接練習など。

○ リフレーミング研修

ゲームを通じて、自分の短所を長所に言い換える。

○ 人権研修

大阪府教育センターの人権教育研究室による人権研修プログラムを他のセンターの職員とともに受講する。

33

非常勤作業員の採用等について

○ 対象者

療育手帳を所持している府立学校の新卒生

(特別支援学校の卒業生に限らない)

○ 採用試験

筆記試験 (実態把握のための基礎学力検査)

実技 (パソコン入力や軽作業など)

面接 (個別面接)

34

令和5年度の状況

○ 非常勤作業員数

7名 (1年め6名、2年め1名)

今後は15名まで増員予定

○ 勤務時間

週30時間 (原則9:15 ~ 16:00の実働6時間)

○ スタッフ

6名 (指導主事3名・指導員3名)

○ その他

職場体験業務 (年間10日が限度) は出張扱い

35

こども輝く大阪 教育の未来

大阪府教育センター研究フォーラム



今年度も開催します!!

36

今年度の分科会

1	ハイフレックス型校内研修の在り方に関する研究
2	動きだす、同僚とつながる教員の育成に向けて ～OSAKA教職スタンダードを活用して～
3	人権教育にかかる効果的な教職員研修の在り方 ～人権課題を自分事として捉えるために～
4	子どもたち一人ひとりの学びの充実に向けて ～これからの支援教育の方向性～
5	小中学校における不登校支援の在り方 ～子どもの多様な学びにつながる適切な不登校支援を探る～
6	高等学校における不登校生徒支援－生徒のこころを捉える－
7	「資質・能力」の育成に資する指導と評価の在り方 ～2ラインのアプローチによる人材育成を軸にして～
8	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進

開催方法：集合開催
開催日程：令和5年
12月25日（月）

37

ご清聴ありがとうございました



「©2014 大阪府もずやん」

38